

「小学校生きもののさがし」

大阪市立環境科学研究センター 榎元慶子

「小学校生きものさがし」の位置づけ

大阪市生物多様性戦略（2018年3月策定）

【基本戦略A】生物多様性の発見と行動の展開

<ねらい>

子どもたちを中心に身近なところで自然体験や生き物を発見する取り組みを進めることにより、生物多様性に関する意識を高め、環境や生き物の多様性を守る行動へとつなげる。

【具体的施策 No.01】

- 市内の学校園などにおける校園内及び周辺での**生き物・植物の観察・発見の企画・実施**
- 身近な公園などでの**生き物・植物調査の企画・実施**

【具体的施策 No.13】

- 生き物・植物調査の結果を活用
- 生き物・植物調査の結果について、イベントでの展示や学習会での**発表を行い、市民などに対して幅広く紹介**
- 学術的に貴重なものについては学術発表

「小学校生きものさがし」を行なう価値は？

ミッション1：調査

多種多様な生物を自ら探索・記録し，生息情報を自ら蓄積していくことで市民の生物多様性についての意識啓発を図る．

ミッション2：授業

学校の敷地内をフィールドに生物を探索し，身近にいる生物の生息場所や特徴を知ることにより，児童らの生物多様性保全への理解を促す．

見つけた生き物のマップ イメージ

さまざまな場所（環境）を調査し、生き物リストをマップに記載



げんかんよこ 玄関横

ヤマトシジミ (幼虫)*
11月の観察の時の観察は、このようにして観察した。幼虫は、このように、大きさが4-5mm。

ヤマドリシジミはカタバノに
ツマギロヒのモンはスミレにくるよ

コミカンソウ

じゆきん 樹木園

アオスジアゲハ*
11月21日-4日

アオスジアゲハはクスノキにくるよ

キマダラカメムシ

ゼニゴケ

ヒロハアオイラガ
外来種

いけ 池

アメンボ

シオカラトンボ

シヨウジョウトンボ

しばみ 芝生

ウラボシチコグサ

アカハネオシババク 外来種

ウスバキトンボ

シロツメクサ

きょうしつまえ 教室前

セイタカハハコグサ

ミズのなかま

コスナゴミムシダマシ

オカタンゴムシ

ブロックやマットをくめてみたら
みつけるかもしれないね

がしやん 学習園

イタダキ*
10月の観察は、このようにして観察した。11月には、このようにして観察した。大きさが4-5mm。

モンシロチョウ

ウリハムシ

エノコグサ

ハマスグ

ヤブカラシ

こうどうら 講堂裏

エシキソウ

ヘクソカズラ

スベレコ

見つけた生き物の名前を地図の上を書いてならべると、何種類の生き物が見つかったかがわかり、大切な記録になります。

生き物調査と生物多様性学習の流れ

講師・サポーターによる事前調査

データ整理

大阪市立茨田西小学校 (鶴見区) 138種

2018年 6月19日 みつかついたいきものそのまま

ピオトープにし〜がくしゅうえん	ピオトープにし	ピオトープひがし
11種	53種	41種
がくしゅうえんきた		
53種		
がくしゅうえんみなみ		ひろていーひがし
51種		39種
こうどうひがし	せいもんがきん	つきやまがきん
6種	14種	1種



児童への授業



春夏調査と秋冬調査
各校年2回
対象：第4学年

児童らによる調査



標本整理



講師による本日の生き物解説



児童らのデータ発表



児童らのリスト記載

調査事例 20180619 茨田西小



フ
カ
ア
ア
ア
イ
ウ
エ
エ
オ
オ
オ
オ
オ